

秘密が漏れや
禁物です。
個性が光ると
くなりそう。
強気の押しに
強さが鍵。
族の絆強し。
びます。

久米田寺と久米田池 (岸和田市池尻町)



熊野古道

みちくさ記

8

信太森葉葉稻荷神社 (第6回) 4月25日付) 田市を訪ねた。和泉式を訪ねた際に触れた和泉式部の歌が気にな

り、その伝承地・岸和 したが、離婚、再婚を している。「恋の淵」

下松町の隣の額原町 JR久米田駅から住

寺でひと休みした。案

づくりのリーダーとし

ての役割を

和泉式部と行基の伝承地

絵と文・熱田親憲

題字・熱田素華

受け継がれる敬意と感謝

求められて いたよう だ。行基は

「恋さめの 淵」「式部 塚」「筆塚」 「硯塚」な どを訪ねた が、表示は あるもの の、式部の 生活が見え て来ない。 和泉守道貞 も現地に赴 任しなかつ たようで、 後人による 「正一位積川大妙神社」 の浄行寺、小松里町の 宅地を歩くと視界が開 けて、奈良時代の僧・ 行基の開発による久米 田池が満々と水を湛え ている。池の多い泉南 地区らしく、灌漑用の ため池にしては大規模 で、取り仕切った行基 の計画性と管理能力の 高さが伺えた。岸辺の 木陰には久米田土地改 良区集会所、水門近く には府ため池観測局が あり、現在は行政の監 督下に置かれている。

内板を熟読すると、 農業施設を整備して、 人々の生活を安定させ た上で心の豊かさを説 き、上層農民や豪族を 味方に取り込み、町づ くりに取り組んでいた のだろう。毎年、だん じり祭で行われる八木 尊を導師に招いて、真 言宗、律宗、華嚴宗の 兼学寺院とした。各地 から学僧が集い、高僧 の感謝が受け継がれて いる。

(次回は7月25日掲載 予定)